

## クリスチャン生活と召会生活における神の王国の発展

(金曜日——午前の第一の部)

メッセージ 1

神の王国は発展して、神が彼の神聖な命の中で支配する領域となる

聖書：マルコ 1:15. ヨハネ 3:3, 5. ルカ 4:43. 17:20-21. II ペテロ 1:4-11

### I. 神の王国は神ご自身です——マルコ 1:15. マタイ 6:33. ヨハネ 3:3 :

- A. 神の王国は、神をその内容としています。神ご自身は、彼の王国の内容としてすべてです—— I コリント 4:20. 15:28。
- B. 神は命であり、神聖な命の性質、能力、形状を持っており、それが神の支配の領域を形成します——エペソ 4:18. ヨハネ 3:15。
- C. 神の命は神の王国であり、また神の王国へのわたしたちの入り口です。わたしたちはこの基本的な原則を見なければなりません—— 3, 5, 15 節。
- D. 事実上、神がわたしたちを統治することは外側の事柄ではなく、神聖な命の本来の能力の事柄です——ローマ 8:2。

### II. 神の王国は神聖な種族の領域であり、その中にすべての神聖な事物があります——ヨハネ 3:3, 5 :

- A. 神は人と成って人の種族の中へと入りました。人は神格においてではなく命と性質において神となって、神聖な種族の中へと入ります——ローマ 8:3. 1:3-4. ヨハネ 1:12-14。
- B. わたしたちは神聖な領域、すなわち神聖な種族の領域の中へと入るために、神から生まれて神の命と性質を持ち、それによって神の王国の中の神・人となる必要があります—— 12-13 節。
- C. わたしたちは神から再生されて、神の種族となり、神の王国に入りました—— 3:3, 5。

### III. 神の王国は神聖な命の領域であり、この命は行動し、働き、支配し、統治して、命はその目的を達成します——マタイ 6:13 後半. ヨハネ 3:3, 5, 15-16 :

- A. 神の王国は神の命で構成された有機体であり、神の支配のための命の領域となり、神はその中で彼の命によって王として支配し、神聖な命の中でご自身を神聖な三一として表現します—— 5 節. 15:1-8, 16, 26。
- B. 神の王国に入る唯一の道は、命としての神を受け入れ、神ご自身を獲得することです。これは再生です—— 3:5, 15. I ヨハネ 5:11-12。

### IV. 神の王国は命の種としてのキリストご自身であり、彼は彼の信者たち、すなわち神の選ばれた人々の中へとまかれ、発展して一つの領域となり、神はその領域を彼の神聖な命の中で彼の王国として支配します——ルカ 4:43. 8:5, 10. 17:20-21. マルコ 4:3, 26-29 :

- A. 神の王国はすばらしいパーソン、すなわち三一の神の具体化である主イエス・キリストです——コロサイ 2:9 :
  - 1. 彼がおられる所はどこにでも、神の王国があります——ルカ 17:20-21。
  - 2. 神の王国は彼と共にあり、彼はそれを彼の弟子たちにもたらしめます—— 4:43。

17:21。

B. 主イエスは神の王国の種であり、神の選ばれた人々の中へとまかれ、発展して神の支配する領域となります—— 8:5, 10. マルコ 4:26-29。

V. わたしたちは、わたしたちの中へとまかれた神聖な命の種の中に含まれる、神聖な命と神聖な性質の発展を経験する必要があります。それによってわたしたちは、永遠の王国へと豊かに入ることができます—— II ペテロ 1:1, 4-11 :

A. わたしたちには、すばらしい同じ尊い信仰が割り当てられています。この信仰はすべてを含む種です—— 1 節 :

1. すべての神聖な豊富はこの種の中にありますが、わたしたちは勤勉になって、その豊富を発展させなければなりません。成長して円熟することは、わたしたちがすでに持っているものを発展させることです—— 1-8 節. 3:18。

2. これらの美德を発展させることによって、わたしたちは命において成長し、最終的に円熟に達し、キリストに満ち、資格づけられ装備されて、来たるべき王国の中で王となります——エペソ 4:13-15. コロサイ 2:19. II ペテロ 1:11。

B. わたしたちは勤勉になって、神聖な命と神聖な性質の成長と発展を追い求め、永遠の王国へと豊かに入るべきです—— 10-11 節 :

1. わたしたちが神聖な命と神聖な性質の発展の中で享受する満ちあふれる供給は (3-7 節)、わたしたちをあふれるばかりに供給して、わたしたちの主の永遠の王国へと豊かに入らせます。

2. この供給は、わたしたちが来たるべき王国へと入ることができるようにし、そのように資格づけます。それは、神の輝く栄光へと至らせるわたしたちの卓越した美德 (活力) としての、神聖な命と神聖な性質のすべての豊富によってです—— 3 節. I ペテロ 5:10。

3. わたしたちの命における成長を通して、またわたしたちの内側の神聖な命の発展を通して、わたしたちは豊かに供給されて、永遠の王国へと入ります。

VI. わたしたちは神から生まれて神の王国へと入った者として、わたしたちの霊の直覚によって神の直接の支配の下に回復される必要があります——マタイ 5:3. I コリント 2:11. マルコ 2:8 :

A. わたしたちは無罪の時代に神治 (神の支配) の原則を見て、良心の時代に自治 (自分の支配) の原則を見て、人治の時代に人の支配の原則を見ます :

1. 墮落の前、人は直接、神によって支配されていました。人は神の御前に生き、神に対して責任を負っていました——創 2:16-17。

2. アダムがエデンの園から追放された時からノアが箱船から出て来た時まで、神は人の内側に良心を確立し、良心がご自身を代行して人を支配するようにしました——使徒 24:16。

3. 洪水の後、人が神治に服さず、自治を捨てたので、神は人に、ご自身を代行して人を支配する権威を与えました——創 9:6. ローマ 13:1。

B. 人は神治から人治に墮落したので、神は人を救うとき、人治から神治に回復し、再び人が単純に神の御前に生きて、神の直接の権威に服するようにならなければなりません——マタイ 5:3, 8. 6:33。

- C. 神の回復のご計画の中で、人は人治から、その間にある自治を通過して、神治まで戻らなければなりません。
- D. 良心を対処することの最終目標は、単にわたしたちを自治に回復することではなく、わたしたちを神治に連れ戻して、神ご自身に回復し、こうして、神の臨在の中で生きさせることです—— 5:3。
- E. 自治と神治との間には大きな違いがあります：
1. 自治が意味するのは、わたしたちが自分の良心の感覚によって生き、自分の良心に対して責任を負うということです——使徒 24:16。
  2. 神治が意味するのは、わたしたちが自分の霊の直覚によって生き、その直覚に対して責任を負う、すなわち、神に対して責任を負うということです：
    - a. わたしたちの霊の内側には、直接の感覚を持ち、事柄を認識し、識別し、理解する機能があります。これがわたしたちの霊の中の直覚です—— I コリント 2:11. マルコ 2:8。
    - b. わたしたちは自分の直覚によって生き、自分の直覚によって制御されるとき、神の臨在の中で生き、直接、彼によって支配されています。
- F. わたしたちは神治の下にいるとき、命の感覚にしたがって、わたしたちの霊の直覚によって生きます——ローマ 8:6：
1. 神聖な命は最高の命であり、最も豊富で、最も強く、最も鋭敏な感覚を持っています（エペソ 4:18）。この感覚が命の感覚です。
  2. 命の感覚は、わたしたちが天然の命の中で生きているか、神聖な命の中で生きているか、肉の中で生きているか、霊の中で生きているかを知らせます——ローマ 8:6。
  3. 命の感覚はわたしたちを導き、支配し、制御し、方向づけます—— 4 節。
  4. 神の王国にはその実際があり、この実際は、神の直接の支配の下にある神聖な命の生活です——マタイ 5:3, 8, 20. 6:33. 7:21。